



神出の樹

平成24年5月24日発行
県立神出学園
神戸市西区小束野30
078-965-1122

毎月1回、主な行事を中心に、神出学園の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成24年第2号をお届けします。

長かったゴールデンウィークも終わり、新緑が本当に目に眩しい季節になってきました。新入生も少しずつ学園に慣れてきて、それぞれに、一步一步前に進み始めたところだと思います。今年は心配されていた「五月病？」もあまりなく、毎日のプログラムに精を出している状況です。

5月の学園の様子

＜羊の毛刈りと神出保育園児との交流会＞



5月16日、「これぞ五月晴れ！」といった素晴らしい天気の中、日頃より交流を続けている地元の神出保育園のかわいらしい園児23名を招待し、今年2歳になった羊のチョコとシロップの毛刈りを行いました。一年間伸びに伸びた沢山の羊毛で、少々暑苦しかったチョコとシロップもすっきりとスマートになり、こころなしか、表情が嬉しそうにみえました。そのあとは、農園でのイチゴ狩り、体育館でのボール遊びなどを一緒に楽しみました。保育園の子どもたちの屈託のない笑顔に、学園生も職員も癒された一日でした。

また、この交流会の様子は、神戸新聞と読売新聞に掲載され、兵庫ジャーナルにも大きく取り上げられました。

<チャレンジ未来体験>

5月15日（火） 神戸空港



<ボランティア・福祉>

5月9日（水） 神出保育園



<4月号でご紹介できなかった、新たに着任された日野さん、岸本さんの神出学園の印象です>

・日野 秀俊さん（教務スタッフ）・・・車を降り立った時、自然のにおい、風、光、鳥のさえずりに迎えられ、心が緩む思いになります。先日は「ギフチョウ」の羽化をはじめて見る事ができました。さなぎの内部では様々な変化を繰り返し、多くの学園生・スタッフが見守る中、羽化をし、ゆっくりと羽を広げ神出から飛び立っていきました。内面では様々な葛藤や変化を繰り返し、思春期の時期を経てゆっくりと社会に飛び立ち成長していく「神出のひと時」に一緒にいれることをすごくうれしく感じました。みなさん、これからよろしくお願いいたします。



・岸本 光さん（教務スタッフ）・・・はじめに神出学園から受けた印象は、山や木々、草原が広がり、自然豊かな場所だと感じました。坂道を登る時に鳥たちのさえずりや羊の鳴き声が聞こえ、穏やかで気持ちの良い朝を感じながら神出学園に来ています。

また、神出学園のスタッフの方は気さくに話しかけてくれるので、根が人見知りの私には馴染みやすく、助かっています。神出学園は、環境とそこで関わる人たちが、うまく組み合わさっている場所だと強く感じました。

※次回からは学園の月ごとの様子をお知らせするとともに、何かテーマを決めて、スタッフの方からいろいろな話を聞いていこうと計画しています。